

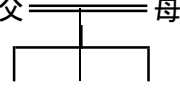
相談用紙の書き方

記入例/相続の場合

氏名 さいたま 太郎

相談内容 *今までの経緯や現在の状況などを具体的に記入してください。

〇〇年〇月〇日に父が亡くなりました。相続人は4人です。遺言はありません。父
知っている父の財産は母が住んでいる土地、家屋ですが、
他に預金、有価証券等があるようです。しかし、兄が預金通帳等を管理していて、長男 長女 次男
私達に遺産がどれくらいあるのか教えてくれません。見せるように言っても口論になって、(私)
話しになりません。遺産を分けてもらうにはどうすればいいのでしょうか。



ポイント

相続

- 誰がいつ亡くなったのか
- 相続人の数
- 遺言の有無
(あればその内容)

不動産取得による登記

- 自己資金の金額
- 贈与の金額 (誰からの贈与か)
- ローンの種類
(保証人や連帯保証人の有無)

家賃・地代の値上げ

- 今までの金額
- 値上げされた金額
- 値上げの理由
- 家賃・地代の支払状況

高齢者等の財産管理

- 本人の判断能力
- 本人の年齢、健康状態
- 財産や借金
- 財産の管理の状況
- 家族の状況

敷金返還請求

- いつ契約したのか
- 契約書にハウスクリーニングや畳の
張替えなどの特約があるか
- 故意や過失で毀損した物があるか
- 相手からの請求内容と金額

貸借金

- 契約年月日
- 借用書の有無
- 借金の金額、返済期限、残額
- 抵当権の対象物件と使用状況
- 保証人、連帯保証人の有無

司法書士の登記法律相談用紙

市民相談(無料)について、次の事項についてご了承ください。

- ・相談員は、あなたの説明だけで短時間で判断しますので、後日判断が異なる場合があります。
- ・相談員は、相談の場における相談内容について受任はできませんのでご理解ください。
- ・お1人様年度1回のご利用に限らせていただきます。

相談内容 ※今までの経緯や現在の状況、相談したいことなどを具体的に記入してください。

相談者メモ欄